

会社概要

(2021年9月30日現在)

社名 トーカロ株式会社 TOCALO Co.,Ltd.
 設立 1951年7月
 所在地(本社) 神戸市中央区港島南町六丁目4番4号
 資本金 26億5,882万3千円
 従業員数 単独 726名 連結 1,170名

子会社

日本 日本コーティングセンター株式会社
 神奈川県座間市
 中国 東華隆(広州)表面改質技術有限公司
 広東省広州市
 中国 東質隆(昆山)電子有限公司
 江蘇省昆山市
 台湾 漢泰国際電子股份有限公司
 台南市
 アメリカ TOCALO USA, Inc.
 カリフォルニア州
 インドネシア PT. TOCALO Surface Technology Indonesia
 西ジャワ州カラワン県

役員

(2021年9月30日現在)

代表取締役 社長執行役員 三船 法行
 取締役 専務執行役員 久野 博史
 取締役 専務執行役員 黒木 信之
 取締役 常務執行役員 後藤 浩志
 取締役(社外) 鎌倉 利光
 取締役(社外) 瀧原 圭子
 取締役(社外) 佐藤 陽子
 取締役(社外) 富田 和之
 監査役(常勤) 三木 猛
 監査役(常勤) 小山 俊彦
 監査役(社外) 吉田 敏彦
 監査役(社外) 中田 琢也
 常務執行役員 進 英俊
 常務執行役員 千葉 祐二
 常務執行役員 古積 隆幸
 常務執行役員 小林 和也
 執行役員 浜田 博介
 執行役員 水津 竜夫
 執行役員 相坂 弘行
 執行役員 中井 勝紀
 執行役員 中平 康樹
 執行役員 高島 剛

株主メモ

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで
 基準日 定時株主総会については3月31日
 期末配当金受領株主確定日 3月31日
 中間配当金受領株主確定日 9月30日
 株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社
 特別口座の口座管理機関
 同連絡先 三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部
 〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号
 TEL 0120-094-777 (通話料無料)
 上場証券取引所 東京証券取引所 市場第一部
 公告方法 電子公告
 公告掲載URL <https://www.tocalo.co.jp/>
 (ただし、電子公告によることができない事故、その他やむを得ない事由が生じた場合には、日本経済新聞に掲載いたします。)

(ご注意)

- 株主様の住所変更、買取請求その他各種手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、左記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国本支店でもお取次ぎいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行全国本支店でお支払いいたします。

株式の状況

(2021年9月30日現在)

発行可能株式総数 160,000,000株
 発行済株式の総数 63,200,000株
 (内、自己株式2,381,222株)
 単元株式数 100株
 株主数 8,220名

大株主

持株数(千株)

日本マスタートラスト信託銀行株式会社 8,628
 株式会社日本カストディ銀行 8,501
 トーカロ従業員持株会 2,795
 BBH FOR FIDELITY LOW-PRICED STOCK FUND (PRINCIPAL ALL SECTOR SUBPORTFOLIO) 2,634
 トーカロ株式会社 2,381
 NORTHERN TRUST CO. (AVFC) RE FIDELITY FUNDS 2,288
 GOVERNMENT OF NORWAY 1,554
 NORTHERN TRUST CO. (AVFC) RE HCROO 1,395
 西條 久美子 1,036
 RBC IST 15 PCT NON LENDING ACCOUNT-CLIENT ACCOUNT 863
 KIA FUND F149 858

TOCALO 71 REPORT

中間報告書 2021年4月1日から2021年9月30日まで

豊かな暮らしの中に、
 トーカロの技術が溢れています。



TOCALO トーカロ株式会社

〒650-0047 神戸市中央区港島南町六丁目4番4号
 TEL 078-303-3433



環境に配慮した「植物油インキ」を使用しています。

TOCALO トーカロ株式会社

証券コード：3433(東証一部)

株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。
さて、当社第71期中間期(2021年4月1日から2021年9月30日まで)の事業の状況につきまして、ご報告申し上げます。



代表取締役
社長執行役員 三船 法行

中間期の連結業績について

新型コロナウイルス感染症の拡大により経済活動が抑制された影響はありましたが、引き続き旺盛な半導体需要に加え、ワクチン接種の普及による世界的な経済の回復から鉄鋼需要なども持ち直しの兆しがあり、当社においても半導体、製紙、エネルギー分野の受注に支えられて期初計画に対して総じて業績は堅調に推移しております。

売上高につきましては、半導体・FPD(フラットパネルディスプレイ)分野の溶射加工が、デジタル社会の進展による旺盛な半導体需要を背景としたメーカーの投資意欲の高まりにより増収となったほか、製紙、エネルギーなどインフラ関連分野の受注回復により、前年同期比18億93百万円(9.9%)増の210億98百万円となりました。

損益面では、半導体需要に対応するための増産投資や環境分野への新たなアプリケーション開発は進めながらも、一層の生産性向上に取り組んだ結果、経常利益は前年同期比10億48百万円(25.1%)増の52億22百万円となりました。

今後の業績見通し、舵取りについて

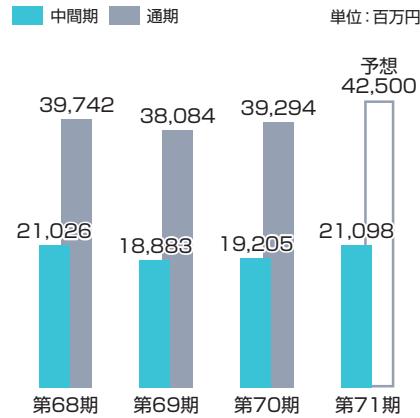
新型コロナウイルス感染症の影響による先行き不透明感は払拭できないものの、今後もデジタル社会の拡大に伴う半導体需要は底堅く推移すると予想され、当社の受注も順調に推移する見通しです。

また、蓄電池、再生可能エネルギーなどの環境分野では、当社の表面改質技術を活用できるフィールドは大きく広がっており、顧客ニーズに最適なアプリケーションの提供を通じ同分野が今後の柱に育つよう経営資源を重点的に投入してまいります。

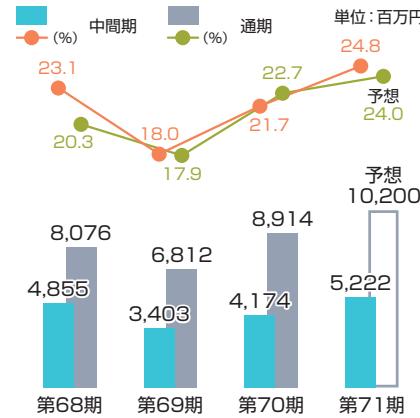
当社グループは、お客様の製造設備・装置部品の耐久性向上や長寿命化を通して省エネ・省資源に貢献できる表面改質技術を拡く普及させ、地球環境負荷低減に努めてまいります。

前年同期比で増収増益となり、通期業績予想の達成に向けて概ね順調に推移しています

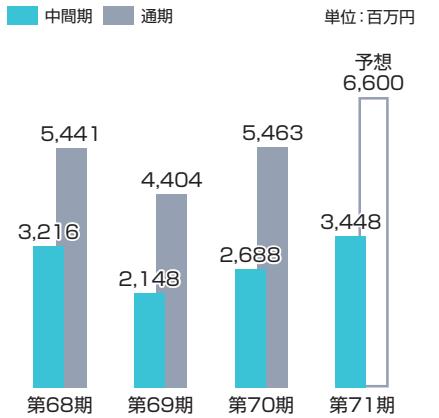
売上高



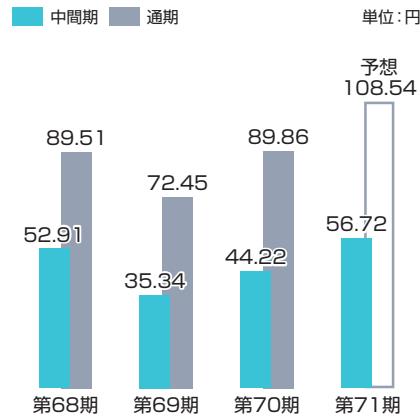
経常利益・経常利益率



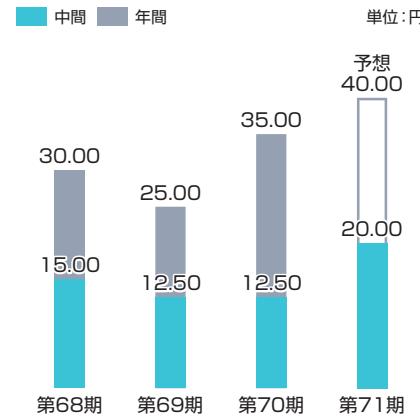
親会社株主に帰属する当期純利益



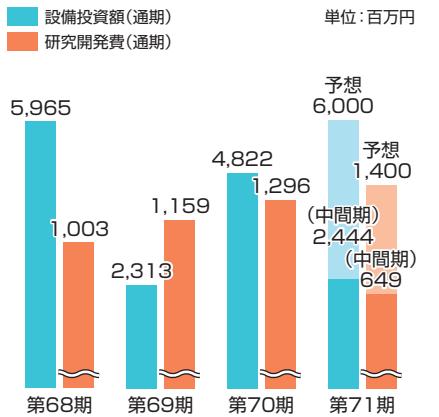
1株当たり当期純利益



1株当たり配当金

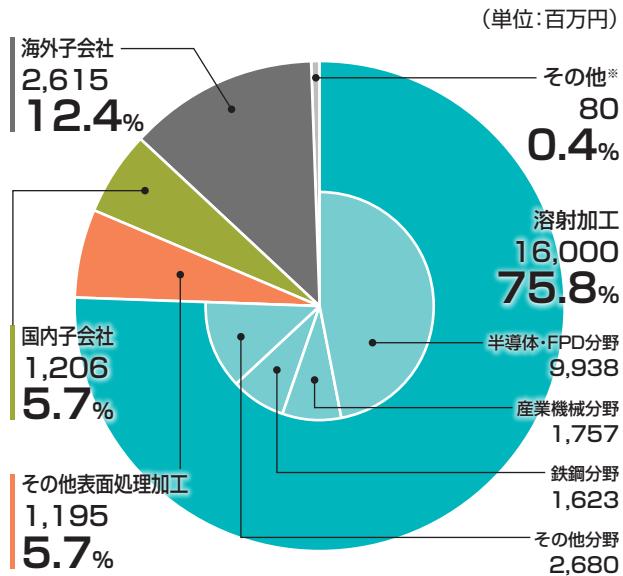


設備投資額・研究開発費



(注) 1. 通期業績予想は、2021年10月29日に上方修正いたしました。
2. 第71期より「受取ロイヤリティー等」の計上区分を営業外収益から売上高に変更しており、過年度もこの変更を反映した組替え後の数値を記載しています。

第71期 売上高
中間期 **21,098**百万円

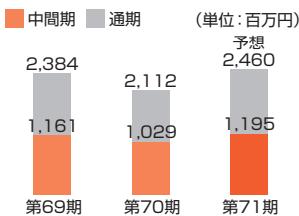


※その他はロイヤリティー等

その他表面処理加工 (TD (拡散浸透法)、ZAC (化学緻密化法)、PTA (特殊粉体肉盛法)) 前年同期比 **16.1%** ↑ up

主なサービス内容 / ▶ TD処理加工 (拡散浸透法)による表面処理 ▶ ZACコーティング加工 (化学緻密化法)による表面処理 ▶ PTA処理加工 (特殊粉体肉盛法)による表面処理

自動車業界の低迷によりプレス金型への加工需要が減少したものの、現在開発中の新コーティング皮膜の適用が半導体分野を中心に広がったことと、農業機械向け加工品が増産となりTD処理加工の受注が増加し、増収となりました。

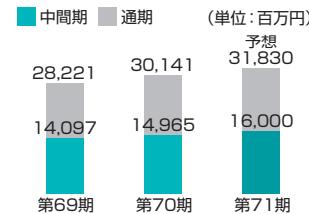


溶射加工

主なサービス内容 / ▶ 溶射加工による表面処理

新型コロナウイルス感染症の影響はあるものの、一部持ち直しの動きも見られ、石油化学、製紙、エネルギー分野を含む「その他分野」で増収となりました。

また、「半導体・FPD分野」の売上高は、半導体の世界的な供給不足を背景とした半導体メーカー各社の旺盛な設備投資から、当社受注も堅調に推移しました。



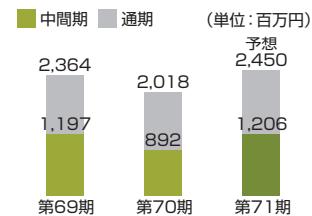
半導体・FPD分野 前年同期比 **10.2%** ↑ up

新型コロナウイルス感染症の拡大を契機としたデジタル化の加速やそれに伴うデータセンター等のインフラ整備による需要の高まりから、半導体エッチング装置向けの溶射加工が伸長し、増収となりました。

国内子会社

会社名 / ▶ 日本コーティングセンター株式会社

半導体不足を背景とした自動車業界の停滞があったものの、切削工具へのPVD処理加工 (物理蒸着法) 需要が全般的に回復し、前年同期比で増収となりました。



前年同期比 **6.9%** ↑ up

産業機械分野 前年同期比 **15.3%** ↓ down



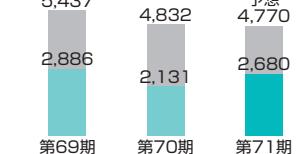
中国高速鉄道向けベアリングに関する顧客の在庫調整にも目途が立ったことから、受注が持ち直しており増収となりましたが、一般産業機械分野の低迷が継続していることから全体で減収となりました。

鉄鋼分野 前年同期比 **6.6%** ↓ down



今期に入り建築業界は持ち直しの兆しが見られるものの、未だ自動車業界向けの半導体および海外調達部品の不足が継続していることから、鉄鋼ロール等設備への溶射加工が減少し、減収となりました。

その他分野 前年同期比 **25.8%** ↑ up

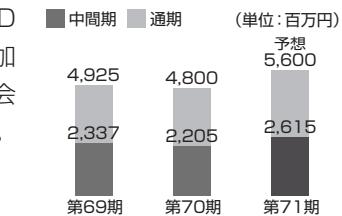


(主にガラス・窯業、石油化学、紙・パルプ、フィルム・繊維分野)
石油化学や紙・パルプ分野は、経済活動の緩やかな回復を背景とした設備投資が再開され、溶射皮膜のニーズが高まったことにより受注アイテムが拡がり、増収となりました。

海外子会社

会社名 / ▶ 東華隆 (広州) 表面改質技術有限公司 ▶ TOCALO USA, Inc. ▶ 東賢隆 (昆山) 電子有限公司 ▶ 漢泰国際電子股份有限公司

中国、台湾で半導体・FPD製造装置向けなどの溶射加工が総じて好調で、海外子会社全体で増収となりました。



トピックス

オンラインによる個人投資家説明会へ出展しました。

上場企業と個人投資家の対話の場
第16回 **日経IR・個人投資家フェア** 2021
9.24 (金)・25 (土) Online
株式投資への貴重な情報が満載!
入場無料

先般、9月24日(金)、9月25日(土)に、今年もオンライン展示会となりました日本経済新聞社主催の「日経IR・個人投資家フェアOnline」に出展いたしました。会期中は当社出展ブースページにて会社説明動画を配信し、多くの投資家の皆様にご視聴いただき、当社へのご理解を深めていただくことができました。今後も個人投資家説明会に継続して出展いたしますので、ぜひお越しください。

溶射技術と溶接技術で東南アジアの製造拠点を目指す

NEIS&TOCALO(Thailand)Co.,Ltd.は、2013年10月にナイス株式会社と当社との共同出資によりチョンブリ県アマタコン工業団地に設立されました。翌年2014年4月に操業を開始し当社としては、中国・台湾に次ぐ鉄鋼分野および一般産業機械分野への溶射事業の開拓を目的とした、3番目の海外拠点で、主に日系企業からの高い品質要求に対して高度なサービスを提供してまいりました。

またここ数年は、これまでの地道な活動が評価され、鉄鋼分野に加え、製紙業界、フィルム繊維業界、非鉄業界などからの引き合いも増え、受注拡大傾向にあります。

また、近隣諸国(マレーシア、ベトナム、ミャンマー、ラオス、カンボジア)にも大きな市場性を感じておりますので、蓄積したノウハウを活かし、多種多様な業界のニーズに対応していきたいと考えております。



NEIS&TOCALO(Thailand)Co.,Ltd.
 所在地: タイ王国チョンブリ県
 資本金: 170,000,000THB
 出資比率: トーカロ株式会社49% ナイスタイランド32.8%
 ナイス株式会社18.2%
 設立: 2013年10月
 従業員数: 17名
 事業内容: 溶射、溶接を中心とする表面処理加工

代表者(MANAGING DIRECTOR)挨拶



MANAGING DIRECTOR 久保 信一

現在、コロナ禍での行動制限が多い中ではありますが、先人の方々が蓄積された実績をベースに市場拡大をはかった結果、昨今では鉄鋼分野のみならず、一般産業分野からの問い合わせも日増しに増えてきております。

また、工場拡大のための土地取得も完了しておりますので、一日も早く新工場の建設を成し遂げ、更なる溶射事業の展開をはかることで、タイのみならず東南アジア近隣諸国の産業界へ貢献していく所存です。

What's トーカロ

トーカロの溶射はすごいぞ! 溶射の技術で車の美しさも長持ち!

長年乗ってる車だけど、まだまだ綺麗ね。
 今日車でお出かけだ!
 車のボディの美しさに、お父さんの会社の技術が役買っているんだ。
 えっ! そうなんだ。

溶射イメージ
 腐食・高温に強い材料
 溶射装置
 シンクロール

自動車鋼板には錆びを防ぐ亜鉛がめっきされてるけど、そのめっき工程の**浴中ロール**に溶射をしているんだ。
 浴中ロールは 450~480℃の溶けた亜鉛の中で使われるから、溶射皮膜で守ってあげないと短期間しか持たないんだ。
 溶射皮膜で浴中ロールを長持ちさせているのね。

そうなんだ。他にも、高温の熱処理炉内で使われるロールの焼き付きや摩耗を溶射皮膜で防いで、鋼板の品質向上にも貢献しているよ。
 それで、車の美しさが長持ちするのね。

熔融亜鉛めっき浴
 浴温度 450~480℃
 ★サポートロール
 ★シンクロール